

労災事故の増加傾向が止まりません。

☆死傷災害は69名(11.6%)増加し664名となっています。



用語の説明は支部
ホームページ参照!

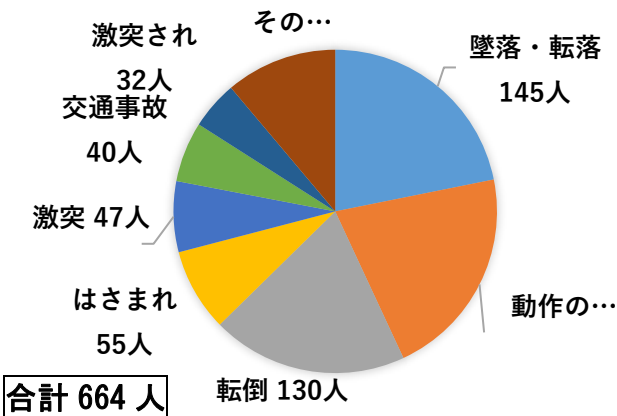
神奈川県労働局の集計によると、令和2年9月末(1月1日から9月30日)における県内の陸運業の労働災害発生は令和元年同期と比較し次のとおりとなっています。

- ◇ 死傷災害は 道路貨物運送業では36名(+7.9%)増加しており、陸上貨物取扱業では33名(+23.7%)増加と両業種で増加しています。
- ◇ 死亡災害は 陸上貨物取扱業の運転者1名が亡くなっています。

1. 概況 (神奈川県内) 陸上貨物運送事業全体 (道路貨物運送業+陸上貨物取扱業)・・・(事故の型ワースト6+交通事故)

事故の型	墜落・転落	動作の反動 (腰痛等)	転倒	はさまれ・ 巻き込まれ	激突	交通事故	激突され	その他	合計
発生件数	145	141	130	55	47	40	32	74	664
対前年増減	-6	+19	+28	-7	-2	+18	-10	+29	+69
同上増減率	-4.0%	+15.6%	+27.5%	-11.3%	-4.1%	+81.8%	-23.8%	+64.4%	+11.6%

陸上貨物運送業全体



陸上貨物運送業全体の発生状況

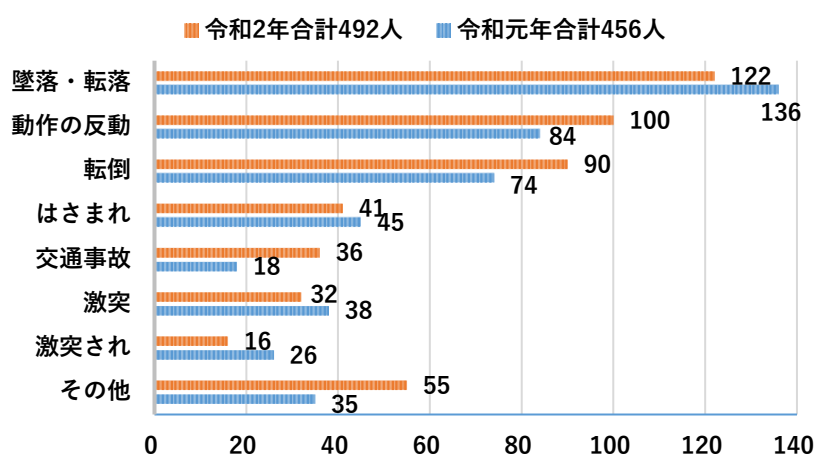
基本操作・行動の励行を!

- ◎ 死亡災害 (1名発生 下記3死亡災害発生概要 参照)
 - ① トラック運転者が玉突き事故に巻き込まれた。
- ◎ 死傷災害
 - ① 転倒災害が28名、27.5%増加し130名となった。特に陸上貨物取扱業で42.9%の大幅増加となっている。
 - ② 墜落・転落災害は、道路貨物運送業で10.3%減少したが、陸上貨物取扱業では53.3%も増加している。

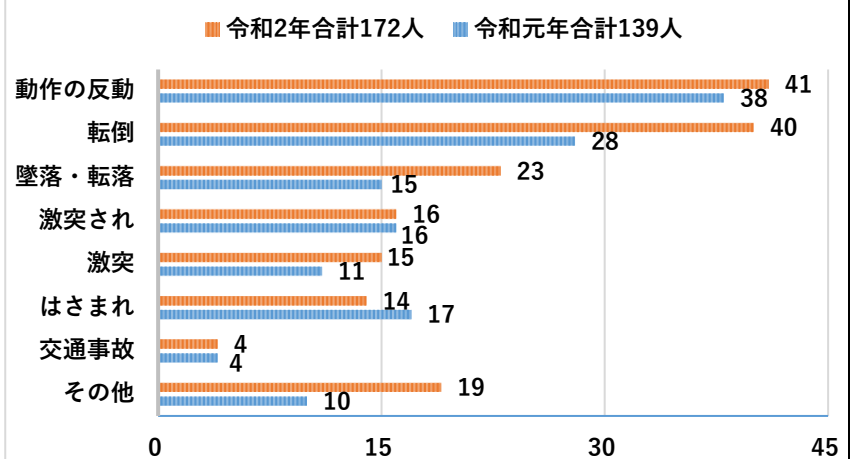
◎ 労災事故が過去最多状態の危機的状況が続いていることを労使で共有し、荷役作業を中心にあらゆる対策を講じて労災事故を撲滅しましょう

2. 各業種の概要

道路貨物運送業



陸上貨物取扱業



- ☆1 昨年同期に比べ+7.9%(+36名)増加して492名となっている。
- ☆2 動作の反動が+19.0%(+16名)と大きく増加している。
- ☆3 転倒災害が+21.6%(+16名)と大きく増加している。

- ※1 昨年同期に比べ+23.7%(+33名)増加して172名となった。
- ※2 転倒災害が+42.9%(+12名)と大幅に増加している。
- ※3 墜落・転落が+53.3%(+8名)と大幅に増加している。

3. 死亡災害発生概要 (陸上貨物運送事業関係)

陸災防神奈川県支部収集

番号	発生地	年月日 曜日 時刻	事業の種別 労働者数 職種	起因物 事故の型	発生概要
1	海老名市	2.6.17 (水) 3時頃	陸上貨物 取扱業 100~299名 運転者	トラック 交通事故	赤信号停車中の車列に10トントラックが突っ込んで合計4台の玉突き事故となり、車列最後尾にいた被災者の3トン車が、突っ込んだトラックと前方の大型トレーラーに挟まれ、運転席が大破した。当該事業場は、陸上貨物取扱業の配送部門である。